

V I S I T はちのへ理事長賞

花を通してよりよい学校へ

中居林小学校 六年 滝本 蒼介

黄色いマリーゴールド、赤いサルビア、ピンクやむらさきの花。これらは、ぼくが毎日楽しみに見ている学校の花だんの花たちです。大きく育ってほしいので、「大きくなつてね。」「元気に育つてね。」と声をかけています。昨日さいていなかった花がさいたのを見つけると、ハッピーな気持ちになります。この花は、仲の良いかん境委員会の友達がお世話をしています。当番のときには、忘れずに水やりをしています。

ぼくは、夏休みに、「いじめの問題等に関する対話集会」に参加しました。そこで、日計ヶ丘小学校の活動の一つ「フラワーロード」を知りました。この活動は、たてわり班に分かれて、一人一人が自分たちの花を育てる活動です。ぼくはこれを聞いたしゅん間、いいなと思います。とてもかわいく、毎日をハッピーにしてくれる、そんな花を知り、好きになってほしかったからです。また、花は、人とのつながりをつくるきっかけにもなると思います。「花がさいたね。」「かわいい花だね。」「ぼくは、この花が大好きなんだ。」「私も、この花が大好きなんだよ。」「このように、花を通して、あまり話さなかった人とも、仲良くなるきっかけになります。一つの花を育てることで、花を好きになり、花

に対する思いやりが生まれ、花を大切にすることで、命を大切に作る気持ちにつながるのではないかと思います。そして、その花がさいたら景色がきれいになり、学校に来て、緑とふれ合うことが楽しくなるのではないのでしょうか。

ぼくが通っている学校は、緑にあふれ、景色がきれいな学校だと思います。春になると学校中を色どるさくら。満開になると、学校がピンク色でそまります。夏になると、いろいろな野菜が実る畑。秋には、校庭にある黄色の大きなイチヨウ。玄関前に植えてある青々とした松。そして、季節ごとに様々な花がさく花だん。どれもとってもきれいで、ぼくの学校の自まんです。そこに、一人一人が育てた花がさきほこることを想像したら、わくわくしました。

来年、四月には、名前に「桜」の文字が入っている妹が入学します。その妹にも、満開のさくらと、この中居林小学校の美しい景色を、ぜひ見てほしいです。

花は、人と人とのつながりのきっかけをつくるとても大切な存在です。そして、毎日をハッピーにしてくれます。いじめの問題等に関する対話集会で知った「フラワーロード」の取り組みを中居林小学校に取り入れて、花に「きれいだね。」「大きくなつたね。」と声をかける日を楽しみにしています。